

ハンドボール No.10

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 少年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号 **E-e**

年月日 2023 年 10 月 8 日 (日)
大会名 特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

公式記録用紙

A 三重県						大阪府						B											
都道府県		市町村		会場		会場		会場		会場		回数											
鹿児島県		霧島市		霧島市国分体育館		霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ						1回戦											
前半	A	B	最終	A	B	第1	A	B	第2	A	B	7m70-	A	B									
	16 子	8 22	結果	37	22	延長			延長			7m70-											
7m得点/総数		A	チームタイムアウト			チームタイムアウト			B	7m得点/総数													
0/0			1	2 後	3	1	2 後	3	1/1														
			2941	1204	2503	1205		1824															
No.	三重県					G	W	2'	2'	D	DR	No.	大阪府					G	W	2'	2'	D	DR
1	安藤 萌花											1	杉本 瑞樹										
2	上村 花瑠					4						2	大堀 もも					5					
3	孫田 汐					4						3	藤本 こころ					6					
4	矢田 莉菜					4						4	寺田 和佳					5					
5	杉本 優空					5						5	濱本 美侑										
6	森田 理世					8						6	松田 野々華					1					
7	田畑 楓音											7	江藤 華										
8	田邊 舞					4						8	春重 蒼衣					1					
9	森田 真帆											9	多田 安澄										
10	高原 みなみ					8						10	坂井 優奈					2					
11	早川 陽菜											11	杉田 滯					2					
12	松岡 唯菜											12	山根 和佳奈										
監督A	蛭川 健司											監督A	平田 彰										
役員B	万谷 由衣											役員B	藤井 紫緒										
役員C	橋本 由紀子											役員C	池田 真奈										
役員D	寺田 州克											役員D	平野 瑞熙										

A **蛭川 健司** チーム役員A署名 **平田 彰** B

特記事項

レフェリー	萩原 佳明	清水 健太	萩原佳明	清水健太
TD	山下 直生	上村 英司	山下直生	上村英司
MO	上村 英司		上村英司	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技

試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日 (日)	試合番号	E-e	回戦	一回戦	
種別	少年女子	会場	霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ			

Aチーム名			Bチーム名		
三重県			大阪府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
37	16	前半	8	22	
	21	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

県内の強豪高校からの選抜となった大阪府と今年度のインターハイでは4強入りを果たした四日市商業高校で挑む三重県との試合となった少年女子一回戦、三重県のスローオフからである。大阪府◎藤本の速攻による得点で試合の幕が上がった。序盤は両チーム速攻メインのスタイルで一進一退の速い展開の攻防が続いた。しかし、三重県◎森田の3連続得点を含む三重県の7連続得点で大阪府を突き放す展開となる。流れがなかなかつかめない大阪府は前半12分で1回目のタイムアウトを使う。だが、三重県の速いディフェンスの戻りが大阪府の速攻を封じ、流れを引き渡さない。そして何より、三重県のフットワークを生かした牽制や厳しいプレスが光り、大阪府を苦しめ、前半を16対8で折り返した。

後半、大阪は速いパス回しからの展開でシュートまでもっていくことが多くなった。しかし、枠外であったり三重県①安藤の好セーブに阻まれたりと、思うように得点を重ねられない。ここで大阪府は三重県の司令塔◎上村にマンツーマン、また、大阪府①杉本の好セーブ、これらが相まって3連続得点。しかし、三重県がここで5連続得点。さらに突き放した。大阪府はすかさずタイムアウトをとる。大阪府は高身長◎大堀をセンターで起用。ミドルシュートやサイドへの飛ばしパスで相手を翻弄。ディフェンスは三重県◎田邊へのマンツーマンで速攻を狙う。ここで大阪府が3連続得点を果たす。しかし、三重県は落ち着いており、さらに運動量を挙げた守備と広くなったディフェンスの間を狙った攻撃で得点を盡産。終始三重県の流れで大阪府を圧倒し37対22で試合終了となった。

	記載者氏名	山根大知
	送信日時	10月 8日 (日) 11 : 28